

第6週

質問 16. なぜ仲介者は、人間であり、また、完全に正しい方でなければならぬのですか。

答え I なぜなら、神の公義は、罪を犯した人間の本性を持っている者が、その罪に対して満足させることを要求します。⁰¹しかし、もし、仲介者自身が罪人であれば、他の人のため、神の公義を満足させられないからです。⁰²

① 質問 16-19 番までは、福音の中に啓示されているキリストについて説明する質問です。16 番の質問は、仲介者は必ず、実際に人間と同一存在でなければならぬ、義なる人でなければならぬ理由を説明しています。仲介者と救い主は、何よりも人間でなければなりません。罪を犯した人間と同じ性質を持った方でなければならぬのです。仲保者が神の公義を満足させるためには、律法が要求する通り、彼は律法の下にある者となるべきです（ガラテヤ 4:4-5）。

② 人間が罪を犯して死が入って来たので、仲介者として罪を贖うためには必ず、死を味合わなければなりません（1 コリント 15:21、ヘブル 2:9）。神は、仲保者と救い主が、女の子孫として生まれることを預言なさったからです（創 3:15、詩 132:11）。神は、贖い主について聖書に前もって予表なさいました。他の人の負債を担うために、あるいは、奴隷として売られてしまった者を解放さ

01 ロマ 5:12、I コリント 15:21、ヘブル 2:14-16.

02 ヘブル 7:26-27、I ペテロ 3:18.

せるために、血の復讐のために、なぜ親類が買い戻しをしなければならないのか、語られたからです（レビ記 25:25、ルツ記 2:20, 3:12-13, 4:1-10）。

仲介者は、私たちにとって大祭司となります。私たちの代わりに犠牲になるからです（ヘブル 5:1-2）。そして救い主は、新しい人間性の頭にならねばならない、自分自ら、人間のあらゆる悲惨さを経験しなければならないので、人間でなければなりません。

③ 仲介者は、人間でもあり、完全に正しく聖なる方でなければなりません。それゆえ、罪があつてはなりません。なぜなら、自分自ら罪人なら、他の人のために公義を満足させられないからです。それでその方は、自分自身のために犠牲の奉げものが不要のない方であることです（詩 16:10、ヘブル 7:26）。仲介者は、ご自身を聖く、傷のない供え物として神へのお捧げになるのです（Ⅰペテロ 1:19、Ⅱコリント 5:21、エペソ 5:2）。つまり、他の人の罪のために苦しまなければならないのです。

④ 罪と神の審判を悟ることで困窮している靈魂にとって、キリストは、知恵と義と罪のための贖いの代価となられ、神の公義を満足させ、神の審判から逃れるようにしてくださるという知らせは、福音となります（ロマ 8:1）。へりくだっている罪人にとって、自分の不義をおおわれる義が、神によってキリストのうちに提供されているという知らせは、良い知らせの中で良い知らせです。福音のうちにキリストが提示されています。従って福音を悟った罪人は、キリストへの信仰を得るようになり、キリストに出て行くようになるのです。

質問 17. なぜ仲介者は、神でなければならないのですか。

答えⅠ それでこそ、御自分の神的力によって、⁰¹その人性においては、神の怒

りを担い、⁰²耐え忍ぶことができ、⁰²私たちに命と義とを得させ、私たちに回復させられます。⁰³

① 私たちのために仲介なさり、救う方は直ちに神でなければならない理由は、神の怒りの重荷を担い、耐えなければならないからです。それでこそ、神の公義を満足させる効果をもたらしてくれます。しかし、どのような被造物も神の怒りを耐えられません（イザヤ9:6）。従ってこの方は、すべての被造物より優れた神でなければならない、それでこそ、ご自分の人性において神の怒りを耐えられるのです（イザヤ63:5）。

② 仲介者と救い主が、神でなければならない、もう一つの理由は、私たちに義と命とを得させてくれるからです。罪人が、神の御前で生き残ろうとすれば、必ず、無限なる義を持っていなければなりません。そして何より、権威ある神に犯したすべての罪が赦されていないとすれば、それでこそ、永遠の死から救われます。それゆえ、私たちには、永遠の義が必要です。仲介者と救い主は、私たちのために、それを持っていないとすればならないのです（ダニエル9:24）。

③ そしてそれを、私たちに分け与えられる方です（ヨハネ10:28）。従って仲介者は、必ず神でなければなりません。ご自分が義であってこそ、その恩寵を分け与えられます（エペソ1:19）。他の人のために義を確保しようとするならば、自分自身が律法の下で従順しなければならず、彼らを贖うためには、ご自分の命を差し出さなければならないからです（イザヤ53:12）。従って仲介者は、死にまで従わなければならない、その死から再びよみがえらなければならないの

01 イザヤ9:5.

02 申命記4:24、ナホム1:6、詩篇130:3.

03 イザヤ53:5、11、ヨハネ3:16、Ⅱコリントと5:21.

です（ヨハネ 10:18）。ところが、どの人間も、このような力は持っていません。従って、その仲介者は、神でなければならないのです。

④ 仲介者と救い主は、罪人を救うだけでなく、感謝と礼拝の対象となることです（テトス 2:14）。このような栄光は、人間やどの被造物でも味わえるものではありません。それで、仲介者と救い主は、神でなければならないのです（ロマ 9:5、イザヤ 54:21, 25）。仲介者と救い主は、必ず、神でなければならないと聖書に預言されています（エレミヤ 23:6、ホセア 1:7）。

⑤ 自分の罪と霊的無能について悟った罪人は、仲保者であるキリストを知るようになりながら、キリストの貴重さを悟るようになります。神の御子が、選ばれた民の罪を贖うために人間の体を着て、苦しまれたことについて感謝し、キリストを所有しようとする熱望が生まれます。そして自分をキリストに屈服させ、キリストに自分を投げ出すのです。それで恵みを体験した罪人は、自分にとって有益であったものをみな、キリストのゆえに、損と思うようになり、主キリスト・イエスを知る知識を一番素晴らしいと思います（ピリピ 3:7-8）。勿論、これは、聖霊さまがその靈魂にキリストを現してくださることです（Ⅱコリント 4:6）。

質問 18. それでは、一人格のうちに神となられ、まことに義となられる人間、その仲介者とは一体、どなたですか。

答え I 私たちの主イエス・キリストです。⁰¹彼は、私たちにとって知恵と義と聖と贖いとになりました。⁰²

01 マタイ 1:21-23、ルカ 2:11、Ⅰテモテ 2:5 ; 3:16.

02 1コリント 1:30.

① 罪人は、自分たちの罪によって、神の一時的な審判と永遠の審判を避けるために、このような仲介者、あるいは、救い主が必ず必要です。ところが、神は、キリストを、私たちにとって知恵と義と聖めと贖いとなるようにしてくださいました。それで私たちは、この仲介者を通して審判から免れ、また恵みを受けられるのです。

完全な仲介者によって、神の公義は満足させられます。罪人となった人生は、このようなことを生産し出せません。従って神が、恵みによる永遠の計画に従って、完全な仲介者を賜物として与えました（Iコリント1:30）。キリストは唯一の仲介者として完全な従順を示し、ご自分の苦難と死を持って完全な贖いの捧げとなりました。

② キリストは、私たちにとって知恵となります。罪人たちは霊的に盲目となり愚かです。罪人は自分の霊的状态について何も分かっておらず、永遠の幸せについても分かっていません。霊的なことについて罪人の理解力は、暗やみそのままです。罪人は神の命から遠く離れています（エペソ4:18）。しかし、私たちの主イエス・キリストは神の知恵です（Iコリント1:4）。その中に、すべての知恵と知識との宝が隠されています（コロサイ2:3）。それゆえ、キリストを知ることによって、私たちは再び知恵ある者となります。

③ キリストは目の見えない者たちを導きますが（イザヤ42:16、ルカ24:44,46、使徒26:18）、先ず罪人は、自分の罪を悟ることが必要です。罪を悟った罪人は恵みを受けようとします。なぜなら、罪人は自ら義を作り出すことができないことを、徹底して悟って認めるからです。これは、自分の力では律法を守ることができないと悟ることから来ます。従ってキリストは彼らにとって義となります。キリストご自身の苦難と死によって無限なる義を確保しておられるので、キリストに行く者（信仰によってキリストと結合する者）は、キリストの義によって神の御前に義となれるのです（IIコリント5:21）。

④ 罪人たちは、罪の支配下にいるため、罪から離れられません。それでキリストは、私たちの聖化のために与えられました。キリストは、ご自身の流された血によって確保された聖を、聖霊を通して罪人たちに伝達させることで、新しい命を得るようにされます。神の聖なる性質に加えられるように、神の形に変えられるようになさいます（I コリント 6:11、II コリント 3:18）。

⑤ 罪人たちは悪魔の奴隷なので、罪と悲惨さの中に縛られています。それでキリストは贖われ、お選びになった罪人たちを、悪魔の奴隷となったところから自由にさせるのです（ヨハネ 8:36）。それゆえ、キリストは私たちにとって大いなる恩徳です（I コリント 1:30）。このようにキリストが仲介者となられるのは、父の恵みによる御心です。さらに仲介者によって味わえる、このような恩徳は、聖霊さまが罪人たちに伝達なさることです（ロマ 3:24-26、II コリント 13:13、ヨハネ 16:13-15）。

質問 19. あなたはこの真理を、何によって知るのですか。

答え I 聖なる福音によってです。神は自ら、初めはエデンの園で啓示⁰¹、後には族長と⁰²、預言者たち⁰³を通して宣べ伝え、律法による犠牲や他の儀式によって予表し⁰⁴、終わりには、ご自身の御子によって成就なさいました。⁰⁵

① キリストは、神が備えられた仲介者であり、救い主であることを私たち

01 創世記 3:15.

02 創世記 12:3, 22:18, 49:10.

03 イザヤ 53 章、エレミヤ 23:5-6、ミカ 7:18-20、使徒 10:43、ヘブル 1:1.

04 レビ記 1:7、ヨハネ 5:46、ヘブル 10:1-10.

05 ロマ 10:4、ガラテヤ 4:4-5、コロサイ 2:17.

は何によって知ることができますか。神の御言葉を通して知ることができます。福音は救いの教理です。従って、真理の御言葉は救いの福音です（エペソ 1:3）。神は、キリストを、救い主と仲介者として罪人に知らせてくださり、罪人にキリストを探し求めるようにさせ、救いを発見するようにさせます（エペソ 3:8-11）。キリストは、福音を通して罪人たちに提示され、罪人はキリストに招かれます。そして、キリストに立ち返る者は救われます（イザヤ 45:22）。福音によって罪人は、キリストを信じなさいという命令を受けます（マルコ 1:14-15）。

福音は、信じる者に、審判から免れることと、恵みを再び受けられることを約束しています（マルコ 16:15-16、使徒 10:13）。神は、福音によって罪から赦される恵みを施します。これは、律法を守る、また、ある条件を満たしたから得られるのではなく、キリストを信じる信仰によって得られる賜物です。むしろ、私たちは律法を完全に守れないにも関わらず、神はキリストを信じる信仰を通して私たちの罪を赦してくださり、永遠の命を賜ります。このような福音の約束は、過ぎ去った時代には、色々な方法で父祖たちに語られました。

② 旧約聖書において、福音は漸進的に啓示されました。何よりも先ず、神ご自身がエデンの園でそれを啓示なさいました（創 3:14, 18）。仲介者は必ず女から生まれる人でなければならない、その方は、聖であり、悪魔とは敵となり、必ず、神であるから悪魔の頭を踏み碎かなければならなかったのです。また、仲介者は悪魔のしわざを滅ぼさなければならない（Iヨハネ 3:8）、必ず、人性を持ったまま苦しまなければならないのです。従って彼を信じる者は、知恵となり、義となり、聖となり、救われるのです。そして信じる者は、悪魔と敵となるでしょう。

③ 神はその後、族長と預言者たちに福音を宣べ伝えるようになさいました。エノクは、仲介者の来られることと、審判について宣べました（ユダ 1:14-15）。ノアは、贖い主の正しさを叫びました（Iペテロ 3:19-21）。しかし、ますます確かなのは、神は、アブラハムと契約を結びながらメシヤを約束し、仲介者を

つかむ者は、その義が賦与されると告げたのです（創 15:6、ヘブル 11:13）。メルキゼデクとは、仲介者の型を先に示すことで、彼が祭司の職と王の職を持っている方であることを示されました（創 14 章、ヘブル 7 章）。ヨブも、メシヤは、贖い主となられることを宣べ伝えました（ヨブ 19:25-27）。

以降は、預言者たちによって、さらに、はっきりと福音は宣べられました。彼は処女から誕生すること（イザヤ 7:14, 9:5）、彼はモーセと同じく預言者として（申 18:15）、メルキゼデクの例にならい、とこしえの祭司として（詩 110:4）シオンの王として（詩 2:6）、さげすまれるが、高く引き上げられ（イザヤ 53 章）、ユダ族から出られる方（イザヤ 6:1）、ダビデの子孫として来られ、ベツレヘムでお生まれになり（ミカ 5:1-2）、目の見えない者を導き（イザヤ 42:16）、だれでも彼を信じる者は罪の赦しを受けられる（使徒 10:43）と、預言者たちは宣べ伝えました。

④ 詩篇でも、キリストに対する特別な言及があります。それを私たちは、メシヤ詩篇とも呼びます。先ず、キリストの品性と職務についての言及があります（詩 3、11、128 篇）。キリストの苦難については、詩篇 1、8、16、22、68 篇があります。そして、福音を宣べ伝えることについては、詩篇 19、40、45、47、50、72、78、93、97、98 篇があります。

預言書でもキリストが一層明白に啓示されていますが、イザヤ書での重要な聖句は、7 章 14 節（処女誕生）、9 章 2、6-7 節（平和の王）、11 章 1-2 節（エッサイの根）、40 章 11 節（羊飼い）、42 章 1-4 節（神の柔和なしもべ）、53 章（苦難受けるしもべ）などがあります。

また、それ以外での預言書では、エレミヤ 23 章 5-6 節（私たちの正義）エゼキエル 34 章 23 節（良い牧者）、ダニエル 7 章 13-14 節（人の子）、9 章 25-26 節（油注がれた者）、アモス 9 章 11 節（ダビデの幕屋を起す者）、オバデヤ 1 章 21（シオンの救い）、ナホム 2 章 1 節（平和の使者）、ゼパニヤ 3 章 15 節（イスラエル王）、ハガイ 2 章 8 節（異邦人たちの慰め）、ゼカリヤ 13 章 1 節（開かれた泉）と啓示されています。

⑤ 神は、福音の約束を御言葉によって宣べ伝えさせただけでなく、実際にその型として、犠牲と捧げものの儀式によって先々示されました。それを通して、聖なる物と人、そして場所と祝祭についても教えました。そして不正なことと、罪について知るようにさせ、彼らの完全さを仲介者から探すようになさいました（コロサイ 2:17、ヘブル 9:9-11）。過越祭も予表です。キリストは過越祭の重要性を、主の聖餐と、制定なさることで連結させました。青銅の蛇もやはり、キリストに対する信仰を示すことです（ヨハネ 3:16）。キリストによって、このすべての約束と預言と模型や影が成就されました。このように成就されていることを思い起こして見ると、私たちの信仰が、強化され、慰めが増して来ます。

⑥ 従って、霊的に目覚めた霊魂は、今にも燃えようとする怒りから避けるために、仲介者に進み出て、仲介者をつかみます（詩 2:12）。そして、仲介者の貴重さを悟って、その方を愛し、自分のすべてをその方に投げます。キリストに自分を完全に屈服させます。キリストの美しさと卓越さを愛し、それを考える時、霊魂は喜びを味わうようになります。

また、キリストを死に引き渡すことで、審判から救ってくださり、回復させてくださった神の愛に感謝します。偉大なる神の愛を賛美します。そして、自分の救いの大切さを悟ります（ヘブル 2:3）。その時、福音の秘密の不思議さをさらに深く悟り、まだ、救いの恵みを分らない者たちに、神の贖いの方法を知らせてあげようとする努力をします。